

十神山



会報



安来節

YASU GI BUSHI

発行所 安来節保存会

〒692-0064 島根県安来市古川町 534 TEL 0854-28-9988 FAX 0854-28-9393 http://www.y-hozon.com/ E-mail:admin@y-hozon.com



令和元年度 安来節全国優勝大会

今年は、前例のない台風の接近に伴い、大会の中止も検討いたしましたが、開催することに決定し、真夏の祭典「安来節全国優勝大会」を8月15日から17日までの3日間、安来市総合文化ホール「アルテピア」にて開催致しました。

今年は、銭太鼓の部で智頭支部、団体の部で本部道場が三連覇をされました。足元の悪い中、たくさんの方々に会場にお越しいただき、誠にありがとうございました。

入賞者一覧表

Table with columns for Department (部門), Rank (順位), Branch (支部名), Name (氏名), and Division (種別). It lists winners and runners-up for various categories like 師範, 准師範, 三段, 二段, 初段, 一級, 二級, 少年, 少年, 初少年, 一少年, 二少年, 三少年.

銭太鼓の部

優勝 智頭チーム

- List of names for the winners of the Money Drum section: 藤井 沙紀, 福永 紗伶, 石辻 桑田, 岩部 田中, 永部 山手, 永部 山手.

準優勝 本部道場チーム

- List of names for the runners-up of the Money Drum section: 安松 達美, 松本 祥記, 松本 重香, 国石 田日, 石増 田重, 国石 田重, 石増 田重.

第三位 関西チーム

- List of names for the third place winners of the Money Drum section: 高鍋 妙子, 田村 実成, 田村 元林, 高吉 秀秀, 高吉 永林.

団体の部

優勝 本部道場

- List of names for the winners of the Team section: 安田 達美, 岩田 中彩, 松本 本記, 松崎 祥江.

準優勝 松江支部

- List of names for the runners-up of the Team section: 堀江 美佐子, 佐藤 賢徳, 高岡 村美, 岡永 瀬栄.

第三位 関西支部

- List of names for the third place winners of the Team section: 田中 文恵, 西原 千成, 西原 三郎, 安高 宗妙.

奨励賞 神門支部

- List of names for the encouragement award winners of the Team section: 品川 和美, 三島 春美, 勝部 明恵, 柳野 亮子.

奨励賞 益田支部

- List of names for the encouragement award winners of the Team section: 椋岩 満代, 出雲 美枝, 原代 貴乃, 二代目 粉田 寿夫.

ご協賛披露

ご協賛いただき、誠にありがとうございました。

安来市長賞

BSS山陰放送賞

審査員特別賞

安来市観光協会伯太支部

安来特産品組合

スポーツショップまつもと

安来節屋

師範の部

五代目富田徳之助賞

師範の部

安来市観光協会広瀬支部長賞

熟年の部

安来市観光協会賞

清水・さぎの湯

観光地連絡会賞

三段の部

安来商工会議所会頭賞

二段の部

JASまね

やすぎ地区本部賞

初段の部

家元四代目渡部お糸賞

少年三段の部

安来市教育長賞

少年二段の部

足立美術館賞

少年初段の部

安来節演芸館賞

少年初段の部

安来市観光協会賞

少年初段の部

出雲文化企画賞

少年初段の部

安来特産品組合賞

少年一級の部

安来市長賞

金鳳賞

安来商工会議所会頭賞

JASまね

やすぎ地区本部賞

西村堂賞

守谷宗光賞

エッグ賞

銭太鼓の部

優勝チーム

(順不同・敬称略)

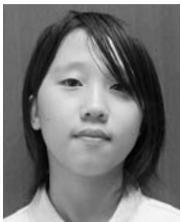
少年三段の部 優勝者

今回の大会は、天気予報で台風が直撃のことだったので、行けるのか、そして帰れるのか、とても心配していましたが、少年三段の部で優勝できて、とても嬉しかったです。三段の部で出場するのは初めてだったので、とても緊張しました。お稽古で節が頭で分かっていたので、なかなかできなかった。何回も練習して本番では何とか唄う事ができました。一緒に行くはずだった祖母が入院してしまい、従姉に付き添ってもらいました。

今回、優勝できたのは、先生や仲間や祖母が心の支えとなり、見守ってくれてくれたおかげだと感謝しています。優勝した事を入院していた祖母が誰よりも喜んでくれました。

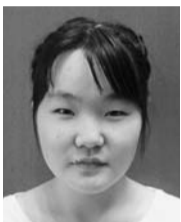
これからもうたくさん練習をして、また優勝できるように努力していきたいと思えます。そして伝統ある安来節の良さや楽しさや面白さをより多くの方に知って頂きたいように、ずっと唄い続けていきたいと思えます。

唄



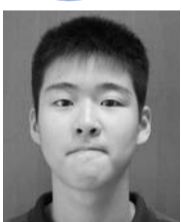
仲野 真央 (東海支部)

絃・踊



広中 しずく (広島南支部)

鼓



藤高 陽斗 (松山支部)

この度は、令和第一回目の優勝大会少年三段の部の絃と踊で優勝をいただき、ありがとうございます。私が安来節と出会ったのは、二歳の時でした。その頃は、祖母と一緒にいるというステップで踊らせていただいたりしていました。それから一度はやめたものの、小学校二年生で初めて優勝大会に出場し、優勝をいただき、それから私は踊りが大好きになりました。お客様さんへ一つ一つの動きと表情で伝えるとお客さんが喜んでくれるのが本当に嬉しいです。踊りで入賞できず悔しい思いをしたこともこれまで多くありましたが、少年の部の最後をこうして悔いなく終われたことを本当に嬉しく思っています。

最後になりましたが、熱心に指導してくださった先生方、私を安来節に出合わせてくれた祖母、いつも私を応援してくれる両親、支部の方々に感謝し、また日々努力を重ね、精進していきます。

この度は、本当にありがとうございました。

今年度は、少年の部で挑戦する最後で、今年にかける思いや周囲の期待は、これまで以上に大きなものでした。その中で優勝できた事をとても嬉しく思っています。アルトピアでの出場は、初めてだったので、会場の雰囲気や鼓の響きなど未知なため、何度も調整をし、いざ大会という前日に高熱を出してしまいコンディションを整える事の大切さを感じました。翌日には熱も下がりを、会場の雰囲気にも適することなく堂々と演奏できたことは自信にもなりました。大会では、初対面の唄や絃の方との数回の練習で、日頃の成果を発揮することは、とても難しいと感じますが、人それぞれの個性を感じる時でもあり、面白いと思う瞬間でもあります。

安来節を習い始めた頃は、練習も乗り気ではなく、道具も上手く扱えませんでした。徐々に安来節の楽しさや良さを理解でき、短時間の練習でも真剣に取り組むようになり、鼓の腕を磨くと同時に克己心も養う事ができるようになりました。今更だ根気強く、丁寧に教えてくださった先生方に感謝しています。本当にありがとうございました。

来年は、一般の部での出場になりますので、まず予選を勝ち抜いて、強者ばかりの中で挑戦していきたいです。また、僕は半間の音が未完成なので、克服できるように頑張りたいです。

訃報

長谷川 郁夫 さん (松山支部長 八十歳) が 令和元年八月六日 逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

事務局からのお知らせ

安来節のしおり (令和元年度版) に誤りがございました。追加してお詫びいたします。

【追加】 広島支部 P143 ◆三段 唄 山本順子

◎会報「安来節」第56号記事のお詫びと訂正について

会報「安来節」第56号4ページの「〇〇県特産の糸?」の記事につきまして、以下の誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます、ここに訂正いたします。

- ・ 8 行目 誤) むすだれ → 正) 玉すだれ
- ・ 59 行目 誤) 移住 → 正) 居住

会員証・安来節しおりの価格改定のお知らせ

会員の皆様には、大変心苦しいお願いとなりますが、令和元年10月1日の消費税増税に伴い、会員証と安来節しおりの値段を改定させて頂くこととなりました。会員の皆様におかれましては、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

- 会員証 (今後発行分より) 600円 → 700円
- 安来節のしおり (令和2年度版より) 700円 → 800円

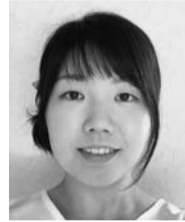
師範の部 優勝者

唄



佐藤 俊月 (加茂支部)

絃



岩田 彩代 (本部道場)

鼓



岩田 久美子 (境港東支部)

踊



藤原 恵太 (仁多支部)

令和元年という節目の年に師範の部・唄において優勝という最高の結果をいただきました。

本当にありがとうございました。

一昨年、出雲俊之助先生より「俊」の一字をいただき俊月を襲名してからの優勝ですので、前回は違う、何とも表現できない喜びを感じております。

加茂支部の皆様をはじめ、多くの方々のご声援や支えが励みとなり、和田俊助さん、林俊佳さんの素晴らしい絃と鼓に乗って歌うことができ、最高の結果を残すことができて私は本当に幸せ者だと思えます。

安来節の楽しさを多くの方々と共に、さらに大きな輪が広がるよう頑張りますので、今後ともご指導下さいませよう、どうぞよろしくお願い致します。

令和最初の大会で優勝させていただき、大変光栄に思っております。

小学一年生の頃、「津軽三味線の吉田兄弟」に憧れ、出合ったのが安来節であり、師匠である小池孝子先生でした。常に優しく指導してくださる先生に支えられ、今日まで続けることができました。「師範になり優勝することができました。先生へ恩返しできれば」と挑み続け、悔しい思いもしてきましたが、諦めなくて本当に良かったと思っております。また、応援し続けてくれている家族、良い刺激を与えてくださる先輩方、後輩達に感謝しております。いつもありがとうございます。

今日からまた一年間「挑戦」の気持ちを忘れずに取り組んでいきます。まだまだ未熟でありますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。最後に先生方、応援してくださいませ皆様、本当にありがとうございました。

この度、師範の部・鼓で優勝という栄誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。今でも夢のように信じられません。これも、御指導くださった諸先生方、支部の皆様、一緒にお稽古してくださる仲間、応援してくれる家族、いつも温かく声を掛けてくださる皆様のおかげだと感謝致しております。

平成十八年に、故二代目砂川清先生を紹介していただき、鼓を始め、出産・育児をしながら、このような好成绩を収められたのは、先生と家族、周囲の皆様のお力添えと御協力があったからこそだと思います。

これからも頑張りたいと思っておりますので、御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い致します。

この度は、本当にありがとうございました。

師範の部・踊で二回目の出場をした今年、優勝という栄誉ある賞をいただき、大変嬉しく思います。

ここまでご指導いただきました師匠の深田英治先生や富田とみお先生はじめに多支部の皆様、そして大東教室の三代目出雲俊之助先生、諸先生方には深く感謝しております。今回の優勝には今までにない重みがありました。師範に昇格させていただき、初めて師範の部で出場した昨年は、レベルの高さを改めて実感し、そこからの一年間は師範にふさわしい踊りとなるよう練習してきました。確実にリズムに乗ることや、実際の情景を想像し一つ一つの動作の意味を考え、表情も大切に、これまでにないほど深く追求することができました。

この結果に浮かれることなく、これからも稽古を重ねるとともに、見てくださる方々に思わず笑みがこぼれるような楽しませる踊りをする事、そして自分が楽しむことを忘れずにやっていきたいと思えます。

この度は、本当にありがとうございました。

銭太鼓の部 優勝チーム



智頭チームの皆さん

「悲願の三連覇」

代表 福永 瞳

これまで私たちのチームは、二連覇の経験はありましたが、三連覇には手が届かずにいました。

予選通過後、「今年こそは三連覇を。」と意気込んで練習に励んできました。数力所振りを変え、かけ声の出し方や笑顔を出すことにも気を付け、昨年度までとは違った空気感の中で練習を重ね、大会が近づくとつれづれ、プレッシャーと共に楽しみな気持ちが大きくなっていきました。

大会当日、他支部の方々にもたくさん励ましの言葉をかけていただき、ほどよい緊張感の中、いざ本番へ。出場チームの大きさを努めさせていただき、楽しみながら銭太鼓を打つことが出来ました。

大会当日、他支部の方々にもたくさん励ましの言葉もかけていただき、ほどよい緊張感の中、いざ本番へ。出場チームの大きさを努めさせていただき、楽しみながら銭太鼓を打つことが出来ました。

団体の部 優勝支部



本部道場の皆さん

代表 田中 美幸

今年の安来節全国優勝大会は、台風十号の山陰地方直撃のニュースで、三日間どうなるのかと他の県からの参加者、開催される関係者の皆様は、大変不安を抱えたままの開会となりましたが、始まってみると台風はどこへやら、これはきつと出雲の神様が守って下さったんです。

そして、いよいよ三日目、私達本部道場団体戦代表として日頃の練習の成果を出し切ろうと五人で「心」一つになり、舞台に立ちました。初めに勢いのある三味線、次に鼓の会場で響き渡る音、「本部道場ガムバレー」の沢山の声援が五人の「力」となり、最後まで

頑張る事ができました。令和初の団体戦の一人として参加できました事に感謝しながらも、他の四人の足を引っ張らない様に自分自身舞台が終わるまでは引き締めて臨みました。結果、優勝となり、手を取り合い喜びました。

今大会に向けて御指導いただきました諸先生方、関係者の皆様、応援していただきました本部道場の皆様に心よりお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。